

平成20年5月19日

各 位

会 社 名 ジャニス工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 井上 光弘
(コード番号 5342 名証第2部)
問 合 せ 先 経営管理部長 富本 和伸
(TEL 0569-35-3150)

継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ

当社は、平成20年5月19日開催の取締役会において、平成20年3月期決算短信および有価証券報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

当社は、当事業年度において188百万円の営業損失を計上し、3期連続の営業損失となり、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当事業年度の営業損失の計上は、建築基準法の改正による建築確認申請の厳格化に伴う新設住宅着工件数の減少、原材料価格の高騰、企業間競争の激化などによるものであります。

このような厳しい経営環境の中、当社は当該状況を解消するために以下の方策を実施してまいります。

1. コスト面では、派遣社員・請負の活用による労務費の削減と変動費化、製造と物流の工程統合による全般的なコスト削減、昨年より実施中の全社横断的なコスト削減活動（シェイプアップ75）の一層の推進、などを実施します。

さらに、安定的な売上が見込めるOEM生産を積極的に受け入れることにより、生産稼働率の安定化と操業度の向上を図り、製品単位当たりのコスト削減を推進します。

2. 収益面では、取引採算の向上を図るため、新製品の投入や新規取引先の開拓を積極的に進めるとともに、低採算取引を抑制し、利益重視の経営を推進します。

また、原材料価格の高騰に対しては、コスト削減活動に加え販売価格の改定により対応します。

3. 財務面では、遊休不動産（大曾工場跡地）の売却を進め、借入金の圧縮と金利負担の削減を行います。

財務諸表は継続企業を前提としており、このような重要な疑義の影響を財務諸表には反映しておりません。

以 上